

## 今週（1月10日から1月13日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み最終週となり、レート水準は底堅く推移した。無担保コールO/N物は、大手行からの調達が一服した事で、週前半は▲0.03%近辺での取引が中心となった。最終日(13日)が週末3日積みとなり調整し辛い事から、前日までに目途をつけたいと考えた先も多かったと思われ、12日は▲0.02%近辺まで上昇する展開となった。13日は、調達量が限られる先が多い中、オファーが増加した事もあり、レート水準は再び低下となった。

ターム物は、16日以降の新積み期スタート物で引き合いが散見された。基準比率が上昇(12月46.5%→1月53.0%)する事に加え、足許のON金利が上昇している事から、ターム物の金利も上昇傾向となっている。

日銀当座預金残高は、502兆円程度から始まった。日銀ネットの不具合により、10日に予定されていたTB3M物の入札及び発行日の変更となった。その結果、11日には償還金の滞留を主因に、507兆円程度まで増加する展開となったが、12日には源泉税揚げ、30年債発行に加え、TB3M物も発行された事で、500兆円程度まで減少した。

金融調節では、12日と13日に2年物の共通担保資金供給オペが、それぞれ20,000億円でオファーされた。また、国債買入オペは、オファー日ベース(10-13日)で、111,051億円(輪番：18,060億円、臨時：25,525億円、指値：67,466億円)の落札となった。

### ●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.095～▲0.11%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、2Y435～444回、5Y145～154回、10Y355～369回、20Y175～182回、30Y65～76回、40Y10～15回など、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、日銀の金融政策変更への警戒感からか、1Y物のカレント銘柄が軟調な推移となった。

10日に予定されていた3M物(1131回)の入札は、日銀ネットの不具合によって、11日に変更されて実施されたが、大きな波乱はなく、無難な結果となった。その後のセカンダリーマーケットではやや堅調に推移した。また、13日に実施された3M物(1132回)の入札は、小じっかりとした結果となり、その後のセカンダリーマーケットでは強含んで推移した。

短国買入オペは、12日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、按分利回り較差+0.041%、平均落札利回り較差+0.044%と弱めの結果となった。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼、石油、建設等、複数の業態から大型発行が実施された。その結果、市場残高は27兆円台で推移し、12日時点では、27兆6,400億円程度まで積み上がる展開となった。

発行レートは、3月末までに償還する日銀適格担保銘柄では概ね0%から小幅のプラスでの決着が中心であった。一方、年度末越えの案件や残高が膨らんだ銘柄については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、レート水準にばらつきが見られた。

CP等買入オペは、11日に事前予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート0.002%、平均レート0.010%と前回(按分0.002%、平均0.012%)比で、按分は横ばい、平均は若干の低下となった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/9 (月)						
1/10 (火)	26,175.56	0.500	131.80	△ 0.027	△ 0.100	5,021,600
1/11 (水)	26,446.00	0.500	132.36	△ 0.030	△ 0.103	5,069,200
1/12 (木)	26,449.82	0.500	131.90	△ 0.022	△ 0.102	5,008,500
1/13 (金)	26,119.52	0.500	129.23	△ 0.035	△ 0.107	5,062,100

## 来週（1月16日から1月20日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/16 (月)	12月の企業物価指数(日銀 8:50)				New York祝日(Martin L.King Jr.'s Day)
1/17 (火)	日銀金融政策決定会合(1日目 14:00~) 11月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	流動性供給 5,000億円 1/18発行	交付税借入 13,000億円 1/25借入		
1/18 (水)	日銀金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 経済・物価情勢の展望 11月の機械受注統計(内閣府 8:50)				12月の米小売売上高、12月の米生産者物価指数 12月の米鉱工業生産・設備稼働率 11月の米企業在庫、米ページブック 12月のユーロ圏消費者物価指数改定値 12月の英消費者物価指数
1/19 (木)	12月の貿易統計(財務省 8:50) 11月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB1Y 35,000億円 1/20発行	20Y 12,000億円 1/20発行	交付税借入 13,000億円 1/30借入	12月の米住宅着工件数
1/20 (金)	12月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 60,000億円 1/23発行			12月の米中古住宅販売

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/16 (月)	1,800	▲ 24,800	▲ 23,000	国債買入 国債補完 全店共通 CP買入		49,400 50,900 20,000 ▲ 500 4,000	123,800	100,800	TB3M発行▲60,000償還60,000 5Y発行▲25,000 個人向け3・5・10Y発行▲2,100償還2,000
1/17 (火)	2,000	2,000	4,000				0	4,000	
1/18 (水)	1,500	▲ 6,000	▲ 4,500				0	▲ 4,500	流動性供給▲5,000
1/19 (木)	2,000	▲ 3,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	交付税借入▲13,000期日13,000
1/20 (金)	1,000	▲ 24,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	TB1Y発行▲35,000償還23,300 20Y発行▲12,000 エネルギー対策借入▲6,400期日6,500
週間合計	8,300	▲ 55,800	▲ 47,500	—	50,400	73,400	123,800	76,300	

1/16は日銀予想、1/17以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、基準比率の上昇により、ビッド数・調達量ともに増加が見込まれる事から、レート水準はやや低下した程度で始まると予想される。債券レポGC O/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ引き続きレートは横ばい圏で推移すると予想される。短国市場は、19日に1Y物、20日に3M物の入札実施が予定されている。また、17日に実施が予想される短国買入オペは、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、CP市場は五十日にあたる20日発行が控えており、発行動向が注目される。また、17-18日に日銀金融政策決定会合が予定されており、結果による市場への影響が注目される。

主要なイベントは、国内では、17-18日に日銀金融政策決定会合、18日に経済・物価情勢の展望、20日に12月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、18日に12月の米小売売上高、12月のユーロ圏消費者物価指数改定値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入